

日本型
ライドシェア

利用者の安全重視

公明が団体と議論

ドライバーの収入確保も



タクシー不足対策を巡って全タク連と意見交換した党懇話会＝14日 参院議員会館

公明党ハイヤー・タクシー振興議員懇話会（会長＝高木陽介政務調査会長）は14日、参院議員会館で、全国ハイヤー・タクシー連合会（全タク連、川鍋一朗会長）とタクシー不足解消への施策について意見交換した。

高木政調会長は、都市部や観光地の一部、過疎地のタクシー不足について、政府が対策を進めていることに言及。特に、タクシー会社による運行管理の下で一般ドライバーが有償で乗客を運ぶ「日本型ライドシェア」の導入に関し、利用者の安全を重視するとともに、ドライバーの収入確保を踏まえた制度設計にすべきだとの考えを示した。

全タク連側は「日本型ライドシェア」について、安全面を確認するため、実施状況を検証する必要があると訴えた。